



**2023 年度
ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in くまもと
実施報告書**



2024 年 4 月
公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

目次

はじめに	1
実施概要	2
スケジュール	3
「たくさんの笑顔に包まれるナイスハートワークショップ」 庄崎 隆志	4
「ノンバーバルコミュニケーションでつながる心と心」 メイミ	6
プログラム概要 障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ	10
参加者の感想	11
プログラム概要 つつじヶ丘学園	16
参加者の感想	17
プログラム概要 第二つつじヶ丘学園	22
参加者の感想	23
プログラム概要 障害者支援施設うぐいす	24
参加者の感想	25
編集後記	26

はじめに

当基金では、2011年の東日本大震災後の福島の障害のある子どもたちへの取組として、「ふくしまっこキャンプ」と題した活動を福島から関東へお招きをして、2012年度から続けてまいりました。

2015度は、福島県内において活動できる内容として、養護学校中心にノンバーバル（非言語）コミュニケーションワークショップと題した、子どもたち同士がよりよくコミュニケーションを図るきっかけとして、楽しみながら体験していただくために開催しました。また翌年も、福島県内の障害のある子どもが通う特別支援学校や障害者施設でワークショップを行い、地域の中で支えあうつながりを強くすることができないかという目的のもと、2日間で4施設を訪問させていただきました。

2017年度は、前年4月に発災した熊本地震の被災地域にある障害者団体を3施設訪問させていただき、併せて、同時期に開催された第66回全九州ろうあ者大会と協働し、研修会とアトラクションの中で、実施致しました。そして2018年度は、三陸沿岸各地で道路が開通され、復興の歩みを進めておられる宮城県の石巻市・女川町と北海道胆振東部地震で被災された北海道胆振及び札幌市の障害者施設を中心に実施し、2019年度は、前年7月の西日本豪雨において被害にあわれた広島市の障害のある方々に対して実施致しました。その後、3年間コロナ禍による中止を経て、2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となってしまった千葉市の施設と札幌市で実施することができました。

今年度は2020年7月の豪雨にて甚大な被害のあった熊本県人吉市周辺の施設で実施することが出来、ノンバーバル（非言語）によるコミュニケーションについての学びの場と致しました。

2024年4月

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

実施概要

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in くまもと

- 1. 目的** ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、当基金は、2011年度より東日本大震災等の被災地を対象として活動を実施して参りました。

今年度は、2020年7月の豪雨にて甚大な被害のあった熊本県人吉市周辺の障害者施設で、新たな出会いとコミュニケーションについて考える場をつくり、障害や障害のある人への理解が深まることを目的に実施致しました。
- 2. 日時** 2024年3月13日（水）～14日（木）
- 3. 場所** 障害者支援センター希望ヶ丘学園他（熊本県人吉市他）
- 4. 主催** 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金
- 5. 後援** 熊本県 / (福) 熊本県社会福祉協議会
- 6. ファシリテーター** 庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家
メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

～スケジュール～

3月13日

09:10 障害者支援センター希望ヶ丘学園 到着
09:50 ワークショップ開始 拍手 / 自己紹介 / アイスブレイク
10:00 手拍子パフォーマンス
10:05 メイミパフォーマンス / 変身ショー
10:15 ミラーリング
10:25 エアボール / 庄崎パフォーマンス
10:40 手のしばい
10:50 ワークショップ終了→記念写真等

12:50 つつじヶ丘学園 到着
13:25 ワークショップ開始 拍手 / 白板で自己紹介
13:40 オリジナルポーズ / メイミパフォーマンス
変身ショー
13:55 庄崎パフォーマンス
14:05 ミラーリング / エアボール
14:20 手のしばい～うみのチェロマイム～
14:25 ワークショップ終了→記念写真等

3月14日

09:10 第二つつじヶ丘学園 到着
10:00 ワークショップ開始 握手 / アイスブレイク
10:10 汽車ごっこ
10:15 オリジナルダンス
10:20 変身ショー / ミラーリング
10:40 メイミパフォーマンス / 演奏パフォーマンス
10:55 ワークショップ終了

12:45 障害者支援施設うぐいす 到着
13:20 ワークショップ開始 ハイタッチ / ハートポーズ
13:30 早着替え / メイミパフォーマンス
13:40 庄崎パフォーマンス / エアボール
13:55 エアベースボール
14:00 変身ショー / オリジナルポーズ
14:10 手のしばい～うみのオーケストラ～
14:20 ワークショップ終了→記念写真等

たくさんの笑顔に包まれる ナイスハートワークショップ



庄崎 隆志

Takashi Shozaki

2日間で4カ所のワークショップの取り組みから見てきたことを振り返ってみます。初めて出会った人との関係性で緊張が目立ち、メイミさんと私の二人の姿を気にしていた参加者たちもいました。

そこでまず、「ハイタッチ」「鏡マイム」「架空のボール投げ合い」「変身ショー」などを通じて、徐々に緊張が打ち解けていくようでした。

お互いに表現をしていいのだという安心感に支えられて、のびのびと表現する姿が見られました。参加してくれた障害を持つ人々は、ひたむきな表現に「自己アピール」と「自分が成し遂げること」を真摯に動いてくれました。まさに、今回のワークショップは「元気の素」をしっかりと伝わってくれたと思います。ノンバーバルコミュニケーションは、心が感じるままに自己を開放し、「ありのままの自分」であることができる場所です。さまざまな障害を持つ人々の価値観の違いがあっても、好きであればやる、やりたければやる、見るだけでもいい。そうした自分自身の生きる価値観の大切さを気づかせてくれるの

が、まさに国際障害者年記念ナイスハート基金ノンバーバルコミュニケーションです。手法やプログラム内容は何であれ、一人ひとりの個性が社会共生する空間に想像の輪が広がり、創造する。つまり、「生きる」姿そのものなのです。そうした視点からノンバーバルコミュニケーションワークショップ企画にどんどん取り組んでいけば心のケア的成果も大きいと、日頃の実践から感じています。

今後も障害者たちのたくさんの笑顔や思い出、また自信につながるようなワークショップを心掛けていきたいと思っています。色んな障害者支援センターや施設、グループなどの人たちにこのメッセージを伝え、一人でも多くの障害者が自己開放感の場所を通して豊かな心を育ててくれることを願っています。



庄崎隆志

演出家・劇作家・舞台俳優・ノンバーバルコミュニケーター
舞台俳優・日本演出者協会会員・日本劇作家協会会員・
office風の器主宰元デフ・パペットシアター・
ひとみ代表・創立メンバー（1981～2004）

1961年東京杉並区生まれ。現在淡路島在住。身体で人間を表現する「コトバ」を超えた表現者であり、劇作家、演出も手掛ける。1981年より全国各地750箇所2500ステージ、欧州、米国、アジア等14ヶ国公演を経験。『オルフェウス』『UKIYO E』『里亞王～リア～』『真夏の夜の夢』『波無烈斗～ハムレット』等シアター×提携公演、横浜赤レンガ倉庫・俳優座劇場・横浜ランドマークタワー・前進座劇場・世田谷パブリックシアターなど演出という実績を持つ。大学、企業、文化庁の演劇大学、国際障害者年記念ナイスハート基金、日本劇作家大会などでノンバーバル演劇（非言語）ワークショップ、身体表現の講座などの活動を続けている。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。第1～9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園審査員長



ノンバーバルコミュニケーションで つながる心と心

メイミ

Meimi



今年度は熊本県の人吉市と球磨郡にある4つの施設様での開催でした。コロナ禍以来、初めて外部の人を招いての行事開催という施設様もあり、歓迎ムードで迎えてくださいました。心より感謝いたします。

また、今年度もワークショップ開催にご尽力された関係者の皆様、素敵な機会をいただき有難うございました。

今年は元日から能登半島の地震発生という大変な年明けとなり、心を痛めております。被災された方々、震災でお亡くなりになった方、そのご親族様、心よりお見舞い申し上げます。

ノンバーバルコミュニケーションワークショップは自然災害等の被災地復興支援の事業として行っており、今回訪れた地域でも4年前、大変な水害がありました。現地を訪れ、

その爪痕を感じました。

非常事態の時、当たり前が当たり前でなくなるその時、人との繋がり、コミュニケーションのあり方がとても大切なのではないかと考えます。

ワークショップという特別イベントではありますが、非言語コミュニケーション自体は特別なものではなく、日頃から活用して頂けると良いなと思います。

今回訪れた4施設様は通所施設2カ所、入居施設2カ所ということで、障害の程度も重度の方から軽度の方まで様々でした。

また、施設様の雰囲気や取り組みによって、同じ障害のある方でも全く反応が異なり、一つとして同じものはありませんでした。

「いつもは5分くらいで部屋を出ていく方が最後まで参加してびっくりしました！」

「あの人があんな反応を示すなんて驚きです！」

いつも接している職員さんであっても、参加者様の知らない一面に出会うワークショップです。

人の可能性は無限大で、この障害があるからこうだろうという思い込みによって、その人の知らない魅力に気付けずにいるかもしれません。





ファシリテーターの私たちが特別ではなく、関わり方次第で、コミュニケーションに変化が生まれるということを感じて頂けると嬉しく思います。

この数年間のコロナ騒動で人との距離感が難しくなりました。本来、非言語コミュニケーションにはスキンシップも含まれますが、どの程度接して良いものか迷うところがあります。

今回訪れたある施設様で、ワークショップ後に皆さんに囲まれ、もみくちゃになるという体験がありました。次から次へと声をかけられ手を握り、こんなに密に人と接する機会は久しぶりで胸が熱くなりました。また、ワークショップ中には照れ臭そうにしてらっしゃった方が自ら積極的にハグしてくださり、実はこんなにも心を許して下さったのかと驚きました。人の心は一見して分からないものですね。



ファシリテーターを庄崎隆志さんと共に担当していますが、ファシリの2人にもこの1年間で変化があったようです。

庄崎さんはここ数年で高齢者施設さんでの活動が増え、高齢者さんとの関わりの中で身

についた、ゆっくりと「待つ」という新たなコミュニケーションを実践されていました。待つ、じっくりと関わる、手を変え品を変え根気強くボールを投げてみる。慌ただしい日常の中で、待つことは勇気のいることかもしれませんが、その先にある温かなコミュニケーションは味わい深い素敵な時間です。

さて、私はというと「受け身の姿勢で積極性がない。新たなチャレンジをぶつけてみては？」というご指摘を受けました。自分を振り返り、心当たりがありました。うちには6歳になる息子がいて、彼にはダウン症があり言葉が上手く話せません。自分のことはさて置き、彼を支えようと立ち回ることが日常になり、一歩引いてアシストする癖がついているかもしれません。

このことに気付けたことは大きな収穫でした。コミュニケーションはキャッチボール、バランスも大切。同じ球ばかりではつまらないし、時には変化球も必要ですね。

私自身も思い込みを捨てて、どんな反応が返ってくるか分からないようなことにもチャレンジし続けたいと思います。

メイミ

漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長。港区登録手話通訳者。

都内デイサービスセンター勤務の経験を活かし、全国各地の福祉大会や学校、介護セミナー、一般向けのイベント等、幅広い場で講演活動を行なう一方、NPO法人を立ち上げ、芸人・歌手・パフォーマー等各分野のエンターティナーの協力を得ながら高齢者施設、障害者施設、福祉イベント等での催しを開催。自身も演芸の舞台に立ち、介護福祉のリアルを漫談で伝えている。更に、港区登録手話通訳者 手話パフォーマンス、障害者スポーツ大会での司会やパフォーマンス、養護学校でのワークショップ講師等、障害者福祉との関わりも深い。モットーは「笑って長生き」「笑顔は副作用のない魔法のお薬」



プログラム概要

障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ 3月13日(水)

時間	プログラム	写真
09:50~	ワークショップ開始 拍手 自己紹介 アイスブレイク	
10:00~	手拍子パフォーマンス	
10:05~	変身ショー メイミパフォーマンス	
10:15~	ミラーリング エアボール	
10:40~	庄崎パフォーマンス 手のしばい	
10:50	ワークショップ終了 記念写真等 【参加者合計50名】	

参加者の感想

障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ 3月13日(水)

しょうごきさん・めいみさんへ手紙
遠い所に来て預いて本当にありがとうござい
ました。まずしょうごきさんについては、しょう
ごきさんは、とてもおしゃべりでおもしろく楽しく
してくれました。と言うのは、しょうごきさんは
お空間の中で何か描いたり思ったことは、手紙
で伝えたりえういうしょうごきさんが楽し
くおもしろく笑えました。また、めいみさん
については、すばらしくて背広からカフエの
店員さんに早覚え飛び込みをしてる所が
本当すばらしくて良かったです。そして、
もう一つしょうごきさんの指の使い方
人間の歩く姿勢そのものでした。最後に
二人のコンビ本当良かったです。
だから、僕は、感謝感謝劇です。
何よりもすばらしいサユでした。
これからも技・芸を磨いて頑張って
下さい。

浦野 暁

参加者の感想

障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ 3月13日(水)

みんなのまねでことばをださずに
いろんなジェスチャーでみんなが
わかってようこんでくれてとても流
しかったです。さいはまえにでるの
がはずがしかったけどたのしか
たです。はじめてがくえんでしたのが
よかったです。みんなとみたのが
うれしかったです。たいちょうにきをつけて
がんばってください。

くわかまじゅんた

参加者の感想

障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ 3月13日(水)

私はわかあゆで、初めて、希望ヶ丘学園での行事に、さんかさせて、もらって、とても、楽しい、思い出になったので、またあるときはさんかさせて、もらいたいと思いました。

障害者支援センターわかあゆ (大川ゆかり)

参加者の感想

障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ 3月13日(水)



障害者支援センターわかあゆ (那須 真由美)

参加者の感想

障害者支援センター希望ヶ丘学園&わかあゆ 3月13日(水)

この度はワークショップの開催ありがとうございました。

庄崎さん、メイミさんのジェスチャーを利用者皆さん集中して観ておられ、歓声や笑顔など反応されている姿を見て、ひとつひとつの動きや表情を理解しようと真剣になられているんだなと思いました。ノンバーバルコミュニケーションだからこそその利用者さんの新たな一面を見ることができたなと感じます。

こう感じてほしい、理解したい、双方の気持ちがあれば言葉に頼らずともいろんなコミュニケーションの仕方があると私自身とても勉強になりました。今後の支援にも役立てていきたいと思います。

障害者支援センターわかあゆ 小川歩

ノンバーバルコミュニケーションワークショップの開催、誠にありがとうございました。

ノンバーバル(非言語)でのコミュニケーションとの事で、利用者がどれだけ理解できるだろうかと、多少の不安を感じていましたが、始まるやいなや、利用者から大きな笑い声があがり、庄崎さん・メイミさんのジェスチャーに合わせて一緒に体を動かされる利用者を見て、不安感はずぐに吹き飛びまして、お二人の動きや表情と利用者の歓声や笑顔を見て職員も一緒に大笑いしながら観覧させて頂きました。

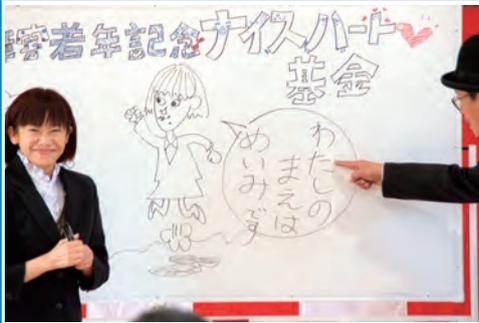
言葉を上手く発する事が出来ない利用者や言葉での声掛けの理解が難しい利用者にも、言葉を用いずとも意思の伝達をする事が出来る事を改めて考えさせられ、支援の方法としてのノンバーバルコミュニケーションの大切さを学ばせて頂きました。

今回は、希望ヶ丘学園・わかあゆにお越しいただき、ありがとうございました。

障害者支援センター希望ヶ丘学園 太平正和

プログラム概要

つつじヶ丘学園 3月13日(水)

時間	プログラム	写真
13:25~	ワークショップ開始 拍手 / 白板で自己紹介	
13:40~	オリジナルポーズ メイミパフォーマンス 変身ショー	
13:55~	庄崎パフォーマンス	
14:05~	ミラーリング エアボール	
14:20~	手のしばい~うみのチェロマイム	
14:25	ワークショップ終了 記念写真等 【参加者合計45名】	

国際障害者年記念 **ナイスハート**
参加者の感想 **基金**

2024.3.15 つつじヶ丘学園



素敵な時間を
ありがとうございました

また会える日を楽しみに
待っています



国際障害者年記念ナイスハート
参加者の感想

茶会

2024.3.15 つつじヶ丘学園



ナイスハートとてもよかったですと思いました日ごろことば
だけで生活しているのでこのようなやりとりもあるんだな
としんせみを考えました本当にありがとうございました
松本勝より

いろんなおそびのジエシシアゲームがとても

たのしかったです。かがみのおそびもとても
よかったです。おとわみんなといしょにあそん
だこともとてもよかったです。又野昌弘より
とあしこころからきてくれたこと、ありがとう
ございましたあいみより
パフォーマンスが楽しかったです。ゲームが楽しかったです。
ありがとうございました。吉田直美より



国際障害者年記念 **ナイスハート** 基金
参加者の感想
2024.3.15 つつじヶ丘学園



ナイスハート たのしかったです

またきてくださいね

とてもおどりがじょうずでした

松本美佐子

お世話になりました川上久代



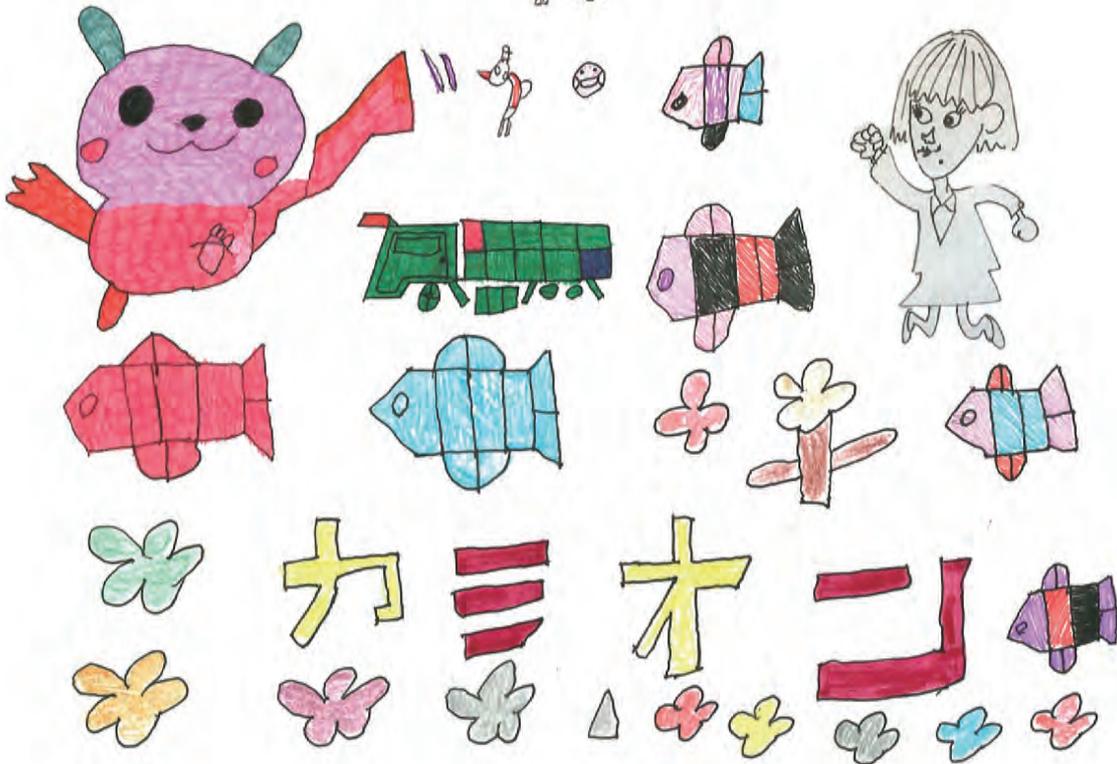
国際障害者年記念ナイスハート

参加者の感想

基金

2024.3.15 つつじヶ丘学園

あなたちしめはわかしているのみこころかぞろしました



国際障害者年記念ナイスハート
参加者の感想
基金
2024.3.15 つつじヶ丘学園



プログラム概要

第二つつじヶ丘学園 3月14日(木)

時間	プログラム	写真
10:00~	ワークショップ開始 握手 / アイスブレイク	
10:10~	汽車ごっこ	
10:15~	オリジナルダンス	
10:20~	変身ショー ミラーリング	
10:40~	メイミパフォーマンス 演奏パフォーマンス	
10:55	ワークショップ終了 【参加者合計45名】	

この度は、お忙しい中第二つつじヶ丘学園へお越しいただきありがとうございました。ノンバーバルコミュニケーションという聞きなれない言葉に、初めは、何が行われるのだろうと不安げにそわそわされていた利用者様でしたが、庄崎様、メイミ様お二人のショーが始まると、ノンバーバルコミュニケーションの世界にいつのまにかどンドン引き込まれていきました。普段、ノンバーバルコミュニケーションである表情や仕草、ジェスチャーなどは意識せずとも何気なく普段の支援で行っていることだと思いますが、ノンバーバルでのコミュニケーションを意識することで、さらに利用者様との関係性に大きく影響があるのではと感じました。利用者様にとっては、ノンバーバルコミュニケーションに触れ、参加することで笑顔があふれ大変楽しい時間を過ごすことができ、職員にとってはノンバーバルによるコミュニケーションについての学びの場となりました。今回、ワークショップを企画して下さった、国際障害者年記念ナイスハート基金の皆様、ありがとうございました。是非、また来園していただきたいです。

第二つつじヶ丘学園 多田

プログラム概要

障害者支援施設うぐいす 3月14日(木)

時間	プログラム	写真
13:20~	ワークショップ開始 ハイタッチ/ハートポーズ	
13:30~	早着替え メイミパフォーマンス	
13:40~	庄崎パフォーマンス エアボール	
13:55~	エアベースボール 変身ショー オリジナルポーズ	
14:10~	手のしばい~うみのオーケストラ~	
14:20	ワークショップ終了 記念写真等 【参加者合計45名】	

ノンバーバルコミュニケーションワークショップ御来所のお礼

春分の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日は御来所いただきまして誠にありがとうございました。

さて、当施設におきましては、新型コロナウイルスが全国的に蔓延し外部の方と交流する機会がなく寂しく思っておりましたが、このような機会を設けていただき利用者・職員共々楽しい時間を過ごす事ができました。皆で記念撮影し色紙を作成しましたので、庄崎様とメイミ様にお渡しいただければ幸いです。

朝、夕はまだまだ寒い日が続きますので体調を崩されませんよう、健康には十分お気をつけください。

末尾になりますが、ナイスハート基金様の今後の発展と、庄崎様とメイミ様のご活躍を祈念致しまして、略儀ながら書中をもってお礼とさせていただきます。



編集後記

のっけからふれあいのスポーツ広場で使用したスティックバルーンが置いてあったり、ふれあいのスポーツ広場でお配りしたTシャツを見かけたり、施設さんのボードには、コロナ以前のふれあいのスポーツ広場の写真が多々飾られたり、言葉いらずの歓迎ムードがあちこちで散見された中でのワークショップとなりました。

4施設訪問させていただきましたが、ひとつとして同じ雰囲気や同じ反応がないのは、それこそがまさにノンバーバル(非言語)所以なのだろうと感ずることが出来ました。ファシリテーターの庄崎隆志さんとメイミさんの動きに、何とか合わせようとする参加者がいれば、それを上回る反応を見せたり、まさかの大どんでん返しの動きをされて、今度は、ファシリテーター二人が、その参加者に合わせようとしたり、そういう一つ一つの積み重ねが、心をほぐしていき、普段は、すぐに外にでてしまう参加者も、その場に留まることができたのではないかと感ずます。場が和む雰囲気は、往々にして予想通りに行かない行動でありましたが、それを受け止めるファシリテーター二人の反応あってこそだと思いました。また、利用者さんのみならず、職員の方も一緒になってハッスル姿も、その場に貴重な安心感をもたらしたのではないのでしょうか。

筋書きのないストーリーで進んでいったこのワークショップを通して、人と人とのコミュニケーションを推しはかる道しるべになればと願いつつ、このワークショップに関わってくださった全ての関係者の皆様に御礼申し上げます。

(公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金 高倉 和樹)

2023年度ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ 実施報告書

2024年4月発行

発行元 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金